

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第17回定例会(平成25年9月定例会)

平成24年度決算	2	第16回臨時会・第18回臨時会	12
決算特別委員会	4	常任委員会所管事務調査	13
健全化判断比率の結果	6	議員活動報告	14
議案等の審議	7	議会報告会のお知らせ	16
一般質問(5人)	8	編集後記	16

議会広報
平成25年11月
第9号

夢の森収穫感謝祭&倉石牛肉まつり



10月13・14日の2日間、小渡平公園において「夢の森収穫感謝祭&倉石牛肉まつり」が開催されました。13日は肌寒い天候でしたが、14日は晴天に恵まれ多くの方が倉石牛を堪能されました。

また、14日はグラウンドゴルフ大会も開催され、多くのプレイヤーが腕を競いました。

第17回定例会

平成25年9月定例会

9月定例会は、9月5日から11日までの7日間の会期で開催しました。

5人の議員が一般質問を行ったほか、議会から2件の案件、町長から補正予算や条例改正など14件の議案と3件の報告、陳情1件が提出されました。

また、平成24年度の決算審査は議員全員で構成する決算特別委員会を設置して審査を行いました。

町の財政状況 平成24年度 決算を認定

各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	94億4,487万円	91億2,338万円	3億2,149万円	
特別会計	後期高齢者医療	3億9,958万円	3億9,516万円	442万円
	国民健康保険	26億9,890万円	26億3,128万円	6,762万円
	介護保険	21億5,828万円	20億2,488万円	1億3,340万円
	下水道事業	4億3,583万円	4億2,864万円	719万円
	農業集落排水処理施設事業	1億1,851万円	1億1,415万円	436万円
	簡易水道事業	9,826万円	9,197万円	629万円
	住宅用地造成事業等	5,271万円	4,545万円	726万円
	ケーブルテレビ事業	4,688万円	4,504万円	184万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	25億9,273万円	26億6,582万円	△ 7,309万円	
資本的収支	2億4,630万円	3億 526万円	△ 5,896万円	

平成24年度決算状況

一般会計の決算状況は、前年度に比べ歳入歳出ともに減額となりました。

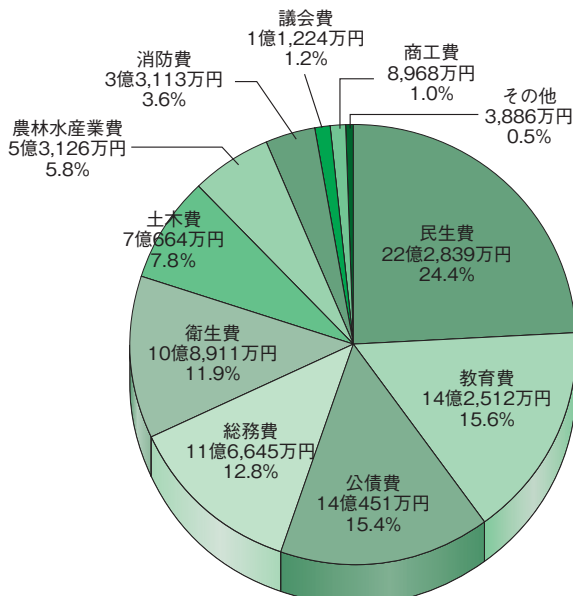
歳入は、地方交付税や町債などの依存財源が78.4%を占め、自主財源である町税や使料などは21.6%となっております。町財政の4分の3以上を

国や県からのお金と借金に頼っています。

歳出は、五戸小学校改築による教育費が増加しました。ただし、人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費は、歳出全体の40.0%で、前年度に比べ2億5158万円の減額となっております。

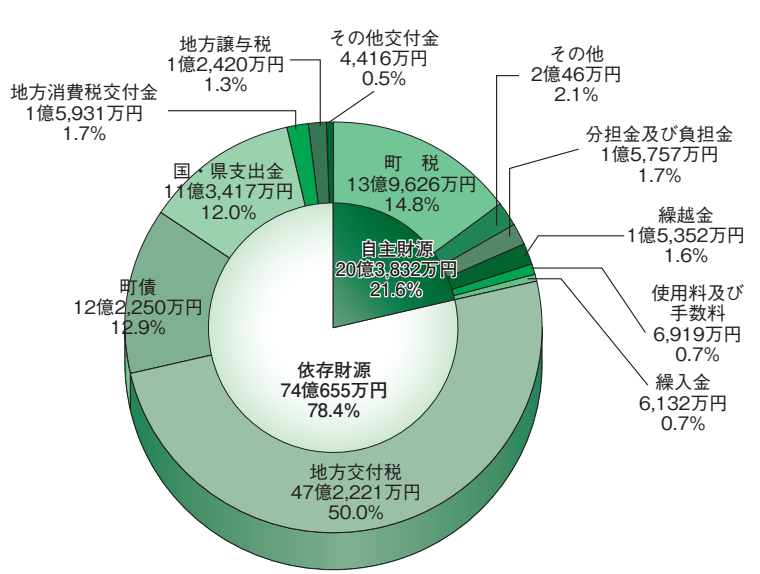
一般会計決算

歳出



※公債費とは、借金の返済額

歳入



町税等の未収金の状況

区 分	24年度末	23年度末	増減額
町税*	1億6,268万円	1億7,537万円	△ 1,269万円
保育料負担金	196万円	234万円	△ 38万円
五戸台地負担金	1,553万円	1,599万円	△ 46万円
給食費保護者負担金	199万円	164万円	35万円
ブドク放牧場使用料	44万円	24万円	20万円
町営住宅使用料	46万円	23万円	23万円
土地貸付料	423万円	354万円	69万円
奨学資金償還金	1,134万円	1,131万円	3万円
後期高齢者医療保険料	162万円	171万円	△ 9万円
国民健康保険税	2億4,503万円	2億8,671万円	△ 4,168万円
介護保険料	449万円	424万円	25万円
下水道受益者負担金・使用料	772万円	720万円	52万円
農業集落排水分担金・使用料	257万円	239万円	18万円
簡易水道使用料	502万円	429万円	73万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	48万円	24万円	24万円
合 計	4億6,556万円	5億1,615万円	△ 5,059万円

*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額

未収金(滞納)総額

4億6556万円

平成24年度末の未収金は、4億6556万円、町税と国民健康保険税で87.6%を占めています。

また、前年度末に比べると5059万円少なくなっていますが、そのほとんどが不納欠損処分によるものです。

不納欠損処分とは

滞納者が死亡し相続人もいない、行方不明などの理由で滞納分の徴収ができなくなった場合、その金額を消滅させること。

町債(借金)の状況

会 計 名	24年度末
一般会計	103億5,758万円
下水道事業特別会計	28億3,217万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	9億8,373万円
簡易水道事業特別会計	2億8,716万円
五戸町病院事業会計	39億7,569万円
合 計	184億3,633万円

町民一人当たり

借金97万円(23年度98万円)

貯金13万円(23年度10万円)

町財政の借金である町債合計は、184億3633万円で、前年度に比べて4億3819万円減額しました。

一方、貯金である基金合計は、24億8100万円で、前年度に比べて4億575万円増加しました。

基金(貯金・積立金)の状況

基金名	24年度末	基金名	24年度末
財政調整基金	8億4,137万円	肉用牛一貫経営支援基金	1,005万円
減債基金	3億2,891万円	地域振興基金	9億6,231万円
土地開発基金	1億4,557万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	358万円
泉山教育振興基金	57万円	過疎地域自立促進特別事業基金	1,000万円
木村秀政教育振興基金	182万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	4,479万円
公共施設等整備基金	51万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	508万円
まちづくり特別事業基金	822万円	介護給付費準備基金	6,009万円
地域福祉基金	90万円	下水道整備基金	2,531万円
江渡恭助人材育成基金	144万円	ケーブルテレビ事業基金	2,256万円
人材育成基金	786万円	合 計	24億8,100万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

決算特別委員会の主な質疑

委員会での一部を要約して掲載しています。

一般会計

開票時間の短縮になるのか

問 高山委員 自書式投票用紙読取分類機を購入しているが、①何台か。②どの選挙でも使用できるのか。③時間はどれくらい短縮されたのか。

答 倉橋総務課長 ①1台購入。②全ての選挙で使用できる。③4候補まで分類でき、約1時間は短縮できている。

リフレッシュ交流の集いとは

問 高山委員 リフレッシュ交流の集いとは。

答 中里福祉保健課長 東日本大震災で被災し、三戸郡内で生活している方を対象とした交流の場。三戸郡社会福祉協議会が実施したもので各町村から負担金を支出。

医師確保対策は

問 中川原委員 医師確保対策事業負担金、①支払い先は。②事業内容は。③町の医師確保にどう反映しているのか。

答 中里福祉保健課長 ①弘前大学医学附属病院へ支払。②弘前大学医学部医学生への医師研修学資金支援事業や県内に勤務している医師に対する研修等の事業。③五戸町のためだけではなく、青森県全体で医師確保をするための事業。

健診受診率アップの対策は

問 若宮委員 特定健康診査手数料の①対象者数と受診者数は。②今後の考えは。

答 中里福祉保健課長 ①対象者40歳以上74歳まで約4500人、受診者は774人で受診率は16・5%。県内で2

番目に低い受診率となった。②保健協力員に一層の受診依頼をお願いし、保健師が担当地区に出てローラー作戦を実施する。

斎場の塗装をすべし

問 川村委員 斎場特別清掃業務委託の内容は。

答 中里福祉保健課長 以前、川村議員から指摘のあった窓の清掃を2回実施。



問 川村委員 斎場入口の壁や柱に触れると白く塗装が付く。塗り直しをしてほしい。

また、斎場が道路から丸見えである。塀や植木などで見栄えをよくすべき。

青年就農給付金の実績は

問 三浦専委員 青年就農給付金の①人数は。②途中で放棄した人は。

答 小村農林課長 ①夫婦2組、個人3人の計5組。②途中放棄はなし。

この給付金を受けるためには、人農地プランに登録される必要がある。今年度は、座談会を予定している地区もある。

商品宅配業務とは

問 高山委員 買物利便性向上のための商品宅配業務の委託先は。

答 新井田企画振興課長 八戸市のメディアネットへ委託。以前から県の事業でこの会社に委託していたため。

問 三浦専委員 利用人数と利用方法は。

答 新井田企画振興課長 利用回数64回、注文個数671件、一人当た

りの売上平均1359円。車、バス等で買物ができる人は対象外となる。

除雪作業の体制は

問 大久保委員 融雪剤散布機は何台あるのか。

答 山下建設課長 町所有の2台を業務委託して実施。

問 大久保委員 コミュニティバスの運行も始まり、スクール対応も増えているので、機械を増やすべきでは。

答 山下建設課長 購入の予定はないが、リース等で対応したい。



問 高山委員 ①委託業者数は。②委託区域の決定方法は。

答 山下建設課長 ①除雪作業・融雪剤散布を合わせて8社に委託。②業者が所有している機械の能力・大きさなど総合的に判断し決定している。

奨学資金に特例制度を

問 若宮委員 奨学資金貸付金の実績は。

答 小村教育課長 24年度は高校生3人、大学生等13人。継続貸付者は高校生2人、大学生等41人。

問 若宮委員 八戸市では特例制度があり、条件によっては返還免除もある。五戸町でも特例を設けては。

学校用パソコンの更新時期の検討を

問 川崎委員 中学校のパソコン購入は何台か。

答 小村教育課長 五戸中学校へサーバー1台、パソコン37台、プリンター2台を購入。

問 川崎委員 パソコンは単価の安いもので、購入サイクルを短くすべき。

土俵の新設を

問 大沢委員 土俵の移設は計画されているのか。

答 小村教育課長 移設も新築も計画されていない。建築基準法により、移設はできない。



問 大沢委員 なぜ、土俵のすぐそばに倉庫を建てたのか。相撲大会を行う上でスペースがなく、危険極まりない。

移設がダメならば新築してほしい。

答 高橋教育長 学校改築工事が終われば、今のままでできると考えている。

下水道事業特別会計

コンビニ振替手数料とは

問 若宮委員 コンビニ納入振替手数料とは。

答 山下建設課長 八戸圏域水道企業団の水道使用料と同じ業者へ委託し、下水道使用料の納付書を発行しているため利用者はコンビニ払いができる。1件45円の手数料を町が負担している。

農業集落排水処理施設事業特別会計

コンビニ振替の導入を

問 若宮委員 農業集落排水処理施設使用料のコンビニ払いは。

答 山下建設課長 農業集落排水処理施設使用料は、簡易水道使用料は、町が納付書を発行している。利用者にはコンビニ手数料よりも安い口座引落をお願いしている。

簡易水道事業特別会計

使用料の滞納対策は

問 大久保委員 簡易水道使用料の滞納が340万円以上あるが、今後の対策は。

答 山下建設課長 滞納者には職員が足を運び、また電話やはがきで請求している。分割払いや一時金での納入も勧めている。

病院事業会計

健診センター増益の方策は

問 若宮委員 健診センターの収益が年々減っている。利用者増の方策は。

答 前田総合病院事務局長 福祉保健課・住民課・健診センターで受診率アップのための協議をしている。

問 三浦町長 八戸西健診プラザ、十和田市立中央病院が健診業務を始めたことなど厳しい環境にある。

また、人口の減少もあり、受診者を増やすのは至難の業だと思う。建物も老朽化しており、今後のことも考え、身の丈に合った規模の経営を考える。

答 鳥合部副町長 役場職員には健診センター・五戸総合病院を利用するように働きかけている。

問 若宮委員 小中学校の先生、警察署、消防署などの団体をお願いしてはどうか。



国からの補助は

問 三浦専委員 一般会計から病院会計への補助金が7.8億円あるが、それに対する国などからの交付税措置(補助)はあるのか。

答 前田総合病院事務局長 概算で普通交付税約3億6000万円、特別交付税約8000万円が措置(補助)されている。

平成24年度決算に基づく財政の健全化判断比率の結果

	①実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合 %	②連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合 %	③実質公債比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 % (3カ年平均)	④将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額が標準財政規模に占める割合
五戸町	—	—	18.0	81.3
早期健全化基準	14.26以上	19.26以上	25.0以上	350.0以上
財政再生基準	20.00以上	30.00以上	35.0以上	

※赤字がない場合、比率が算定されないため「—」を記載。

健全化判断比率とは

- ①実質赤字比率：主に一般会計でどれくらいの赤字があるか。
- ②連結実質赤字比率：町全体(一般会計、特別会計)でどれくらいの赤字があるか。
- ③実質公債比率：借金の返済にどれくらい支払っているか。
- ④将来負担比率：将来どれくらいの負担が見込まれるか。

五戸町は24年度決算において健全な財政状況にあります。

監査委員意見

一般会計・特別会計

予算の執行は目的に従い、かつ、財産管理についても、適正に処理されている。

24年度自主財源は21・6%で前年度比0・9ポイント増加、町税収納率は88・5%で前年度比0・6ポイント増加、実質公債費比率は18・0%で前年度比1・7ポイント減少となり、財政的にはやや改善されてきているが、一層の努力が望まれる。なお、収入未済額(滞納額)が多額となっており、公平な税負担や受益者負担の原則に基づき、徴収率の向上に向けた更なる対策に取り組んでいただきたい。

病院事業会計

予算の執行は目的に従い適正に行われている。24年度においても不良債務は発生していない

が、病院及び診療所の外来患者数が大きく減少しており、今後とも患者の確保に努め、収益の増に向けての取り組みや費用の削減など、経営の健全化を図るよう推進していただきたい。

健診センターにおいては特定健診受診率が16・5%と低い状況にあるため、福祉保健課・住民課との連携を十分図り、受診率向上に向けた取り組みを強化していただきたい。

厳しい医療環境の中、経営基盤の強化に努めるとともに、地域の総合病院として良質な医療サービスに努め、住民から一層信頼される病院となるよう取り組んでいただきたい。

財政の健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率は、ともに収支額が黒字となっているため、算定されない。

実質公債費比率、将来負担比率ともに基準を下回っているが、今後の健全財政を保つためにも将来負担増の要因となる地方債(借金)の計画的な運用を図っていただきたい。

公営企業の経営の資金不足比率

対象となる病院事業、下水道事業、農業集落排水処理施設事業、簡易水道事業、住宅用地造成事業等の各会計において剰余金が出ており、資金不足比率は算定されないが、今後も更なる健全経営を図っていただきたい。

議案等の審議

陳情 1件

- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情

・総務常任委員会へ付託
総務常任委員会の審査結果

採択すべき

町長提出案件

条例の制定 1件

- 五戸町子ども・子育て会議条例

・子ども・子育て支援法に基づき、同会議の組織及び運営に関する必要事項を制定。

審議の結果

全員賛成で可決

議会提出案件

意見書の提出 2件

- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

審議の結果

全員賛成で可決

- 道州制導入に断固反対する意見書

・総務常任委員会へ付託
総務常任委員会の審査結果

審査未了（委員会で結論に至らず）

- 歴史みらいパーク条例の一部改正

・図書館法の一部改正に伴う図書館協議会に関する事項を追加。

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 7件

- 一般会計補正予算（第2号）

・予算総額 104億2665万円
 ・補正額 2億254万1千円増額
 主な増額
 ・ブドロク放牧場キャトルセンター運営に関する事項の追加及び字句の変更。
 ・病院事業会計負担金 1億円
 ・農地整備事業費負担金 1454万円

- 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

・予算総額 25億5991万3千円
 ・補正額 4886万3千円増額
 主な増額
 ・後期高齢者支援金 2834万3千円

- ・退職被保険者等療養給付費 1058万6千円

- 下水道事業特別会計補正予算（第1号）

・予算総額 4億6649万2千円
 ・補正額 137万4千円増額

主な増額

・管路施設工事費 2000万円

主な減額

・詳細設計業務委託料 2000万円

- 農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第1号）

・予算総額 1億4590万5千円
 ・補正額 2万円増額

主な減額

・簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

・予算総額 9636万9千円
 ・補正額 100万円増額

- ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）

・予算総額 2422万1千円
 ・補正額 13万円増額

- 病院事業会計補正予算（第1号）

・収益的収入 27億819万5千円
 ・収益的支出 28億8338万9千円

主な内容

・一般会計からの繰入金 1億118万9千円増額
 ・臨時職員給与費 1594万9千円増額

資本的収入

2億166万3千円

資本的支出

3億190万8千円

主な内容

・一般会計からの繰入金（出資金） 276万6千円増額

- 町以外の規約の変更 1件
- 八戸圏域水道企業団規約の変更

審議の結果

全員賛成で可決

報告 3件

- 平成24年度青森県新産業都市建設事業団の決算

- 平成24年度決算に基づく財政の健全化判断比率

- 平成24年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率

報告に審議はありません。



尾形 裕之 議員



記念事業を実施すべき

質問

来年度は倉石村と合併し10周年。バヨンボンと姉妹都市締結、バヨンボンでの調印式から30周年。平成27年11月1日は、町制施行により五戸町になって100周年である。記念事業をすべきと思うが、町ではどう考えているか。

二浦町長答弁

倉石村との合併の翌年、平成17年7月24日に五戸町町村合併50周年並びに倉石村との合併1周年として町立公民館で記念式典を開催し、町の節目を祝っている。よって、倉石村との合併10周年は倉

石村との合併に御尽力いただいた関係者を中心として、会費制で小規模で実施したいと考えている。

バヨンボン町の姉妹都市締結30周年は、5年前訪問した際、歓迎会等を兼ねて締結25周年の式典を開催しており、フィリピン共和国側では、25年刻みで開催するのが慣習となっている。

町制施行100周年については、昭和30年7月1日に新設合併をしており、記念式典を開催するとすれば、町政施行ではなく町村合併として何周年と捉えるのが妥当と考える。

よって、バヨンボン町との30周年、町政施行100周年の記念イベントは今のところ考えていない。

県基本計画と町総合振興計画の整合性は

質問

県は「世界が認める青森ブランド」の確立を目指し、次期基本計画を年内に決定する予定だが、町の総合振興計画との整合性はどうか考えているか。

二浦町長答弁

次期青森県基本計画の素案は、まさに当町が進むべき方向性と一致するものであり、平成26年度に策定する五戸町総合振興計画に図れるものと考えている。

次期青森県基本計画案

平成26年度から30年度までの基本計画を策定。

県民と目標や戦略を共有し果敢にチャレンジし、青森県の生業と生活が生み出す価値が世界に貢献し、広く認められている状態を目指す。

地域別計画

- ・ 三八地域が2030年に目指す姿
- ・ 元気な物づくり産業の集積地
- ・ 環境に配慮したエネルギーリサイクルの先進地
- ・ 力強い経営体が地域を支える農山漁村
- ・ ぬくもりと彩り豊かな観光地
- ・ 健康で長寿で生き生きと暮らせる地域

五戸高校の存続を

質問

五戸高校の存続について、その後どうなったか。

また、県教育委員会と会議を開いたのか。

二浦町長答弁

五戸高校の存続をするには、まず志願者をふやします。志願者をふやすには五戸高校を盛り上げる。盛り上げるためには魅力ある学校にする。魅力ある学校にするには、1つには五戸高校のサッカーの復活ではないか。復活するには練習場の環境をよくすることだとの結論からひばり野公園サッカー場人工芝生化を決断した。近い将来、五戸のサッカー、五戸高校のサッカー部の復活が期待できるものと思っている。そして、五戸高校の志願者の安定化や増加に寄与するものと思っている。

県教育委員会との会議

平成24年6月13日

青森県立高校改革に関する県市町村会要望

三浦町長発言の概要

県教育委員会は説明会等を開催しているが、結論ありきで進んでいくように見える。もっと地元の要望を聞く姿勢を持ってもらいたい。

平成24年8月17日

県立高等学校教育改革第3次実施計画後期案にかかわる市町村説明会及び意見交換会



五戸高校の存続を

一般質問

8月末現在の工事の進捗率は、校舎棟約67%、体育館約25%で、現在のところ順調に進んでおり、来年3月竣工する見通しである。

校舎棟は、昨年着工した北棟東側の昇降口及び西側廊下については今年5月に完成し、5月20日から一部使用を開始し、学習活動が行われている。新校舎南棟は、8月下旬から躯体の基礎工事に入っている。

高橋教育長答弁

改築工事の進捗状況は。

五戸小学校改築工事の状況は

質問

若宮 佳一 議員



改築工事の対象になっていない施設の整備計画は。

質問

グラウンド周辺のフェンスや塀は、調査した結果、南側と東側の老朽化が非常に進んでおり、来年度の外構工事を含めて整備できるよう、設計費

高橋教育長答弁

を今定例会の補正予算に計上している。スポーツ少年団の部室については、当時の保業者や関係者の方々がお金を出し合って建設したものであり、教育委員会の管理下の施設ではない。今後、関係者の方々と話し合いの場を設け、何かいい方向にもっていきたい。

正面の交差点付近の改良については、道路担当の建設課と協議しながら前向きに検討する。

山下建設課長答弁

県道のため県との協議が必要、また学校改築の大型車両の通行などもあり、教育課と協議しながら早めに対応する。

平成26年度の改築・統合の記念事業をどう考えているか。

質問

高橋教育長答弁

来年4月には統合小学校として、蛭川小・豊間内小・南小の在校児童を迎えることになる。4月8日の入学式に先立って統合記念式典を開催し、引き続き入学式を行いたい。また、落成に伴う記念式典については、外構工事が終了後の来年9月中旬以降の実施を考えている。

少子化時代の教育をどう考える

質問

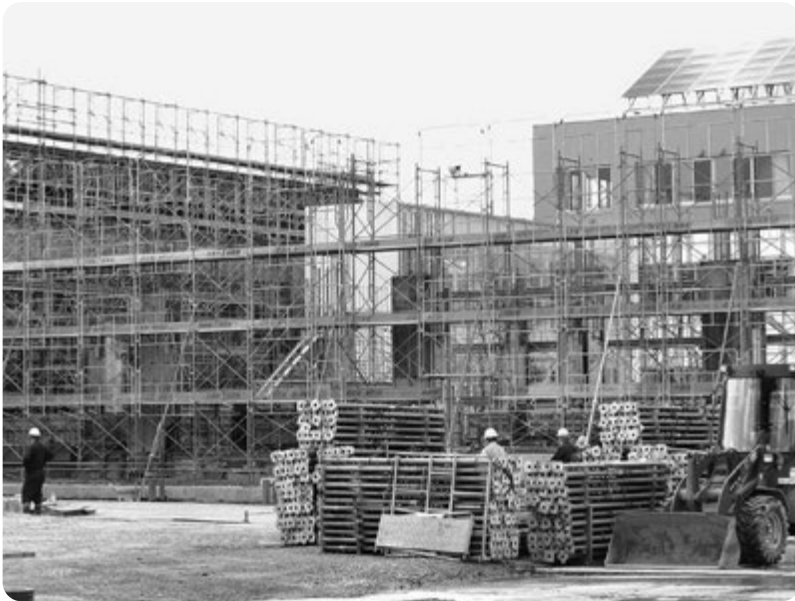
「教育の町 五戸」における今後の少子化時代の教育をどう考えていくか。

高橋教育長答弁

倉石小学校・五戸小学校の統合事業を機会に、新しい五戸町の教育ということを考えていく。

学校教育については、「知・徳・体」すなわち知育・徳育・体育、この調和のとれた人間性豊かな子供の育成と、変化の激しい社会に対して生きる力と夢を育む学校教育の推進がさらに求められる。

社会教育についても、町民自らニーズに基づき学習した成果を地域社会に還元するといった循環型社会教育のシステムを構築することが、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献できると考える。



改築工事中の体育館(左)と新校舎南棟

根 森 隆 雄 議員



薬用作物の栽培を

質問

薬用作物は生産に手間がかからないものが多く、耕作放棄地対策としてよい案だとは思いますが、生産技術のノウハウもなく、売り先もわからないのでは、生産しようという農家がいるわけがない。そこで町が情報を集め、実験農家を募ることにしたらどうか。

二浦町長答弁

新郷村ではすでに栽培をしており、五戸町でも栽培は可能であると考えますが、試験栽培を行うための人材や栽培技術がないので、製薬会社との連携が必要である。また特

許等の秘密保持の問題もあり、簡単にはできないものと思うが、その方策を今後検討していく必要があると考える。

小村農林課長答弁

職員の研修については、国の来年度予算の概算要求内容を見て、来年度から本格的に対応したい。

夢の森ハイランドに多目的トイレの設置を

質問

夢の森駐車場のトイレに多目的トイレを設置してほしいとの声があった。多目的トイレが整備されると、高齢者の外出時間が長くなり、支出もふえたとの調査結果もある。高齢者が活発に活動できるということは介護予防ともなるので、検討を望む。

二浦町長答弁

夢の森ハイランド駐車場のトイレは、利用状況

を調査し、財政状況を見極めながら検討したい。

質問

公共施設には和式トイレが多く、高齢者や膝を痛めている者にとっては大変不便である。さらに、家庭でも洋式が主流となっており、洋式への改装を望む。

二浦町長答弁

公共施設の障害者用トイレの改修は計画的に行っており、各公共施設に1カ所は設置した。一般用トイレの洋式化は、浅水活性化センター、町立公民館、図書館、ひばり野交流センターは設置済み。未設置の施設については、今後計画的に改修を検討する。



多目的トイレの設置が望まれる夢の森ハイランド駐車場のトイレ

中川原 賢 治 議員



農業健康被害の経過と今後の対策は

質問

農業クロルピクリンによる健康被害の報道があった。この農業は当町特産のナガイモ、ゴボウの栽培には欠かせない土壌殺菌剤であり、当町の農業にも大きな影響を与えかねない問題である。この健康被害についてこれまでの経過と今後の再発防止対策は。

二浦町長答弁

県と町では対応を協議し、平成24年6月の最初の相談後に現地調査を実施。住宅周辺でクロルピクリンを使用する農家に使用を控えるよう指導を

した。

その後、クロルピクリン適正使用のチラシを町内農家全戸に配布し、ホームページ、ケーブルテレビ、広報誌を活用して農業による被害防止をお願いした。

さらに、平成25年6月に周辺一帯の調査とアンケート調査を実施し、使用状況の把握に努め、調査結果から周辺の農家に對し青空教室を活用して、適正使用をお願いした。

今後は、農業による危害防止を毎年ホームページ、ケーブルテレビ、広報誌を活用してお願いするとともに、農薬販売者側にも、町と歩調を合わせて農薬の使用を指導してもらうよう働きかける。

健康被害の経過

平成24年6月

三八地域県民局農業普及振興室へ被害を相談
相談内容

十数年前から毎年春から秋にかけて体調が悪くなる。仕事にも支障がある。

平成24年12月まで10回の相談

農業普及振興室の対応

専門病院での受診を進めた

平成24年12月

県外の専門病院を受診

診断結果

農薬による化学物質過敏症、クロルピクリンが原因と考えられる

平成25年1月

診断結果を農業普及振興室に提出

その後も数回にわたるクロルピクリンの使用などについて相談



五戸町特産のナガイモ畑 ※記事の内容と写真の場所は関係ありません

一般質問

時期尚早あるいは廃校利活用を踏まえ検討すべきなどの回答や意見を、関係団体から頂いているので、実現に向けて関係者らと協議を継続していく。

三浦町長答弁

主要プロジェクト33項目のうち既に31項目については具体的に実行しているため、プロジェクト全体を考えると、おおむね良好で推移していると判断している。残る2つのプロジェクトに関しては、時期尚早あるいは廃校利活用を踏まえ検討すべきなどの回答や意見を、関係団体から頂いているので、実現に向けて関係者らと協議を継続していく。

松山 泰治 議員



今後のまちづくり計画は

質問

合併まちづくり計画の10年間の成果と反省は。

質問

今後10年間のまちづくり計画の策定は。

三浦町長答弁

東日本大震災の影響で法律が改正され、合併まちづくり計画事業は今後6年間の延長となった。平成26年度に策定予定の五戸町総合振興計画は、総合的に町の活性化が図られることを目的としていることから、この計画の中で各種事業を推進していきたい。その中で、少子化対策が一番重要と思っているため、全課が少子化対策に向けてどのようにすべきか考える。

高橋教育課長答弁

スポーツ少年団はどこも団員不足と聞いている。今後とも団員数の減少が進むと思われるので、今後五戸町スポーツクラブへの加入を促進させることも必要と考えている。

支援状況では、五戸町スポーツ少年団本部の事務局を教育委員会が担当し、県本部への団体登録や傷害保険への加入事務を行っている。町から本部に対して10万円の活動助成金を出している。

スポーツ少年団・マーチングバンドに町の支援を

質問

今後のスポーツ少年団のあり方と町の支援状況は。

質問

スポーツ少年団が練習場まで行くためのコミュニティバスをふやせないか。

小村教育課長答弁

来年度の五戸小学校の統合に合わせて、バスの運行を調整していきたい。

質問

指導者が一番大事だと思いが、指導者の育成は。

高橋教育課長答弁

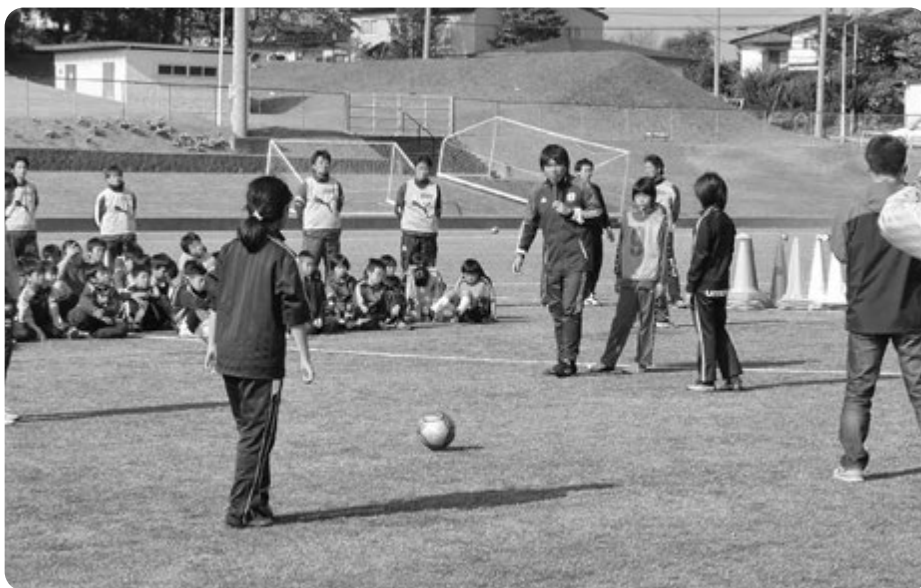
現在、五戸町スポーツクラブでは町のボランティアと五戸町スポーツ振興公社の職員で指導を行っている。少子化が続き、将来町全体で一本化した場合、ボランティアでは賄いきれない専門的な指導者なども考慮しなければいけないと考えている。

質問

マーチングバンドで全国大会に出場した学校が複数あるが、各校とも人数が少なくなりフォーメーションもできない。五戸町で一つのマーチングバンドにできないか。

高橋教育課長答弁

全体的なことを考え、一つのアイデアとして今後考える。



J F A 復興支援特任コーチ 手倉森 浩 氏によるサッカー教室

第16回臨時会

平成25年8月9日に臨時会を開催しました。
町長からの案件として、4件が提出されました。

町長提出案件

工事請負契約の締結 1件

●町営住宅ひばり野団地建設(8-1工区)工事

・契約相手方
大山建工・北上工務店
特定建設工事共同企業体
・契約額(税込)
1億479万円

1件
工事請負契約の一部変更

●町営住宅ひばり野団地建設(7-2工区)工事

・変更後契約額(税込)
5326万7550円
538万7550円
増額

財産の取得 1件

●消防ポンプ自動車(CD-I)

・契約相手方
互光産業株式会社
・契約額(税込)
1879万5千円

・第18分団へ配置

審議の結果

全員賛成で可決

人事 1件

●副町長の選任

とりやべ れいさぶろう
◎鳥谷部 禮三郎 氏
昭和21年7月12日生



五戸町字石仏

主な職歴

五戸町職員
総務課長、町民課長、
企画課長、建設課長、
参事・総務課長事務
取扱
副町長(4期)

審議の結果

全員賛成で同意

第18回臨時会

平成25年10月22日に臨時会を開催しました。
町長からの案件として、2件が提出されました。

町長提出案件

補正予算 1件

●一般会計補正予算(第3号)

・予算総額
105億3536万
1千円
・補正額
1億871万1千円
増額
主な増額
台風18号の豪雨被害に伴うもの
・農業施設災害復旧費
総額
4532万1千円

審議の結果

全員賛成で可決

・道路橋梁災害復旧費
総額
2779万8千円
・道路橋梁補助災害復旧費
総額
2900万円
・公立学校施設災害復旧費
総額
348万2千円

人事 1件

●教育委員の任命

みづら ひろし
◎三浦 浩 氏
昭和35年8月10日生



五戸町字正場沢
主な職歴等

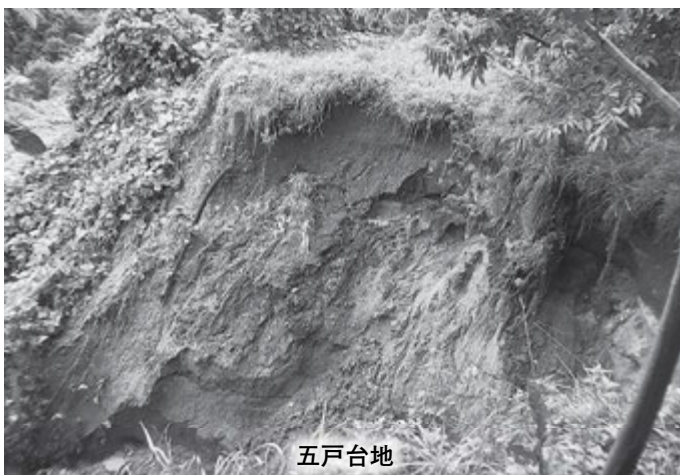
月金株式会社
八戸タクシー株式会社
代表取締役(現職)
青森県立五戸高等学校
PTA会長

審議の結果

全員賛成で同意



五戸台地



五戸台地

常任委員会 所管事務調査

統合校の教育環境は

総務常任委員会

10月21日実施

調査の内容

- 倉石小学校の教育環境
今年度実施した修繕内容と来年度に向けて実施してほしい修繕箇所を現地視察。
コミュニケーションバスの問題点と要望。
- 五戸小学校の教育環境
新校舎及び工事の進捗状況視察と問題点。
- 選挙公報の発行と投票時間の状況
選挙公報発行のための経費や問題点。
過去の選挙における投票時間と投票率の推移。



倉石小学校の修繕要望箇所を確認

五戸橋補修工事状況は

経済常任委員会

10月18日実施

調査の内容

- 農道保全対策事業
・北市川三方塚線
・北市川轟線
農道工事の概要と進捗状況の現地調査。
- 社会資本整備総合交付金事業
五戸橋橋梁補修工事の概要と進捗状況の現地調査。



五戸橋の工事状況を確認

汚泥等の再資源化

民生常任委員会

10月22日実施

調査の内容

- 倉石東部処理場
現地視察。
・石沢処理場
現地視察。
- 五戸町農業集落排水処理施設事業
「汚泥の肥料化」の概要。処理場から出される汚泥の肥料化が求められている。
・堆肥化施設
・県南環境保全センター
株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社の堆肥化施設を視察。



県南環境保全センター株式会社の施設を視察

五戸総合病院検討委員会を発足

昨年の議会報告会でも総合病院に関する意見・要望が多数寄せられました。

来院されている方々のご意見を聞くため、10月1日から1か月間、総合病院にアンケート用紙を設置しました。

結果については検討委員会での今後の課題とさせていただきます。

民生常任委員会で検討した結果、常任委員会でなく町全体で協議すべき問題であるとの意見が出されたことから、まずは議員で検討委員会を足させました。

委員長	大沢博
副委員長	沢田良一
委員	和田寛司
委員	大久保均
委員	鈴木繁盛
委員	川崎七保
委員	若宮佳一
委員	三浦專治郎
委員	中川原賢治

アンケート結果

回答数	341件			
性別	男性	116人	女性	215人
年齢	20歳未満	6人	20歳代	8人
	30歳代	18人	40歳代	23人
	50歳代	53人	60歳代	90人
	70歳代	100人	80歳以上	40人
住所	五戸町	285人	五戸町以外	48人
	五戸町の方			
	五戸地区	149人	切谷内地区	19人
	上市川地区	12人	浅田地区	21人
	豊間内地区	12人	倉石地区	41人

待ち時間について

長い 183人 短い 30人
 どちらともいえない 115人

※未回答の項目があり、回答数と一致しません。

多数のご意見ありがとうございました。
 アンケート結果の詳細については、
 次回の議会だよりでお知らせします。

第2回定住自立圏の形成に関する勉強会

平成25年8月20日、南部町にて八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟及び八戸市主催による勉強会と講演会が開催され、五戸町議会議員は15人が参加しました。

勉強会(視察会)
 ・白華山 法光寺



・南部町医療健康センター
 1 建設事業 研修
 平成26年度開業に向けて建設中の保健・医療・福祉サービスを包括的に受けられる医療健康センターを視察。

講演会

【報告】

ドクターカー・ドクターヘリの運行(航)状況について
 八戸市立市民病院
 救命救急センター
 副所長

副所長

野田頭 達也 氏



【講演】 定住自立圏構想の推進 について

総務省地域自立応援課
 課長 馬場 竹次郎 氏

町村議会広報研修会

平成25年9月25日、青森市にて議会広報を作成するための研修会が開催され、広報常任委員4人が出席しました。

講演

(1)「議会広報に求められるものは？」

(2)町村議会広報のクリニック

広報コンサルタント

深沢 徹 氏



台風18号の被害状況を現地調査



路肩と法面が崩れた小渡線(苗代沢地区)

平成25年9月26日に議員全員協議会が開催され、9月16日の台風18号による被害状況を町長及び担当課長より説明を受けました。

その後、被害を受けた道路、農地、農業施設等の被害調査を実施しました。

【被害状況】

- ・町道 25箇所
- ・河川 1河川
- ・農地 19箇所
- ・農業用施設 23箇所
- ・五戸中学校屋根
- ・ケーブルテレビ 断線1箇所

【被害総額概算】

1億420万円

補正予算で対応

【16日の町の対応】

午前9時 災害警戒対策本部を設置

午後1時45分 自主的避難場所を開設
町立公民館、3支所、五戸高等学校、南小学校、豊間内コミュニティセンター

午後7時 防災行政無線、ホームページ等で周知

午後7時 避難所を閉鎖

午後7時30分 災害警戒対策本部を解散

ただし、関係課の一部職員は夜通し庁舎に待機し、住民対応と非常事態に備えた。

第3回定住自立圏の形成に関する勉強会



平成25年10月11日、五戸町にて八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟及び八戸市主催による勉強会(視察会)と講演会が開催され、五戸町議会議員は16人が参加しました。

勉強会(視察会)

・JA八戸ながいも洗浄選別施設

・ひばり野公園サッカー場



講演会

「未来を、ともに」

大宮アルディージャ運営法人
エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニケーション(株)
代表取締役社長 鈴木茂氏

三戸郡町村議会議員研修会

平成25年10月31日、南部町にて三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は15人が参加しました。



講演

「農林水産業の6次産業化」ってなんだろう?

青森県農林水産部
あおもり食品産業振興チーム

主幹 三上一哉氏

第2回 議会報告会 開催のお知らせ

下記の日程・会場で開催します。時間は2時間程度を予定しております。
いずれの会場でも参加できますので、ご都合のよい会場へおいでください。

開催日時	A班	B班	C班
11月27日(水) 午後6時30分から	町立公民館	蛸川公会堂	豊間内コミュニティセンター
11月28日(木) 午後6時30分から	切谷内公民館	浅水活性化センター	瑞穂館
11月29日(金) 午後6時30分から	石沢公民館	倉石温泉	倉石コミュニティセンター
議員班構成	大 沢 博	根 森 隆 雄	和 田 寛 司
	高 山 浩 司	尾 形 裕 之	大久保 均
	鈴 木 繁 盛	松 山 泰 治	若 宮 佳 一
	川 崎 七 保	沢 田 良 一	川 村 浩 昭
	三 浦 専治郎	中川原 賢 治	古 田 陸 夫
	三 浦 俊 哉	柏 田 雅 俊	中 里 公 志 郎

報告会の 内 容

- ・議会からの報告 平成24年度決算、平成25年度予算、議会の状況
- ・参加者の皆さんからの質問、意見、要望

当日は、本誌をご持参ください。

編集後記

このへ議会だよりも第9号を発行することができました。

議会の果たす役割は年々大きくなり、自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大されてきております。議会はそれに対応していかなければなりません。

五戸町議会は開かれた議会を目指し、平成23年に議会広報の発行、予算・決算特別委員会の傍聴、平成24年は定例会一般質問のケーブルテレビ放映、議会報告会を開催いたしました。

平成25年は定例会一般質問に一括方式と一問一答方式の選択制を採用し、現在は選挙公報の発行と議会基本条例の制定について、検討しております。

このへ議会だよりも、ありのままに、分かりやすく、住民の皆さまとともに歩んでいきたいものです。

委員 三浦 専治郎

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月12日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の広報は、
平成26年2月
発行予定です。

広報常任委員会

委員長 根 森 隆 雄
副委員長 高 山 浩 司
委員 大久保 均
委員 鈴木 繁 盛
委員 若 宮 佳 一
委員 沢 田 良 一
委員 三 浦 専治郎